

## 2010年ABAC第4回横浜会議プレスリリース【仮訳】 ABAC、首脳にFTAAPについて決断を迫る

アジア太平洋地域のビジネス界は、今週後半に行われる対話で首脳に対し、アジア太平洋自由貿易圏（FTAAP）に向けた断固たる行動をとるよう促す。特に、環太平洋パートナーシップ（TPP）、ASEAN+3、ASEAN+6/CEPEAなど、FTAAP実現に向けたもっとも効果的な道筋について決断に至るよう要請する。

APECビジネス諮問委員会（ABAC）は、地域のビジネス界の重要事項について土曜日にAPEC首脳と対話行いが、それに先駆けて、今年の最終会合を日本の横浜で開催した。

「APECの創設以来、アジア太平洋地域における貿易・投資の流れを自由で開かれたものにするために多くのことがなされたが、世界は変わってきている。過去16年の間に、APECにおける経済・社会構造に根本的な変化が起きている。変化する事が常態化している現代のアジア太平洋地域のサプライチェーン、バリューチェーンは、ビジネスが成長し続けるために本質的により深い市場統合を必要としている」とABAC議長の相原元八郎氏は語っている。

また、相原氏は、「この進化に対応するために、国境における障壁に対処してモノ、サービス、投資、技術、人の流れをさらに自由にするだけでなく、国内措置についても対応するための新たなAPECのビジョンが必要である。私たちは、FTAAPがこれを達成するためのもっとも実際的な方法であると信じている。それゆえに私たちは、FTAAPの実現に向けて英断を下すよう首脳に対して要請をし、今後とも引き続き促して行きたい」と続けた。

今年の中脳への書簡と報告書の中で、ABACはFTAAPに向けた前進が、この地域の均衡のとれた、あまねく広がる、持続可能で、革新的かつ安全な成長を実現するための最善の戦略であることを強調した。またそれは、世界経済においてAPECが継続的にリーダーシップを発揮し同時に強く関与していく事を確実にするものでもある。

あまねく広がる成長を推進するために、ABACは中小・零細企業（SMME）が、金融、技術、その他のキャパシティビルディングプログラをより一層利用できる様にするための、さらなる取り組みの改善を要請する。SMMEはこの

地域のビジネス界の大きな部分を占めており、SMMEの成長は経済統合を促進させることができる。

食料安全保障、エネルギー安全保障も重要な議題である。食料安全保障については、ABACは初めて開催されたAPEC食料安全保障担当大臣会合の結果に勇気づけられた。そして、さらにこの問題に重点を置く事、そして政府と民間がよりよい連携をとる事を要請した。エネルギー安全保障については、ABACは、エネルギーに係るモノ、サービスの自由な流れの障壁となるものの撤廃、持続可能な資源を含むエネルギー供給源の拡大、多様化を求めた。

2012年にロシアがAPEC議長となることを見越し、ABACはロシアのWTO加盟に対する強力な支持を表明することを決議した。